

## 山行報告書

受付 No.	214	登山地・ルート	南駒ケ岳～越百山
目的	秋の山を楽しむ&歩行トレーニング		
メンバー	L：大山、岡本真		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
10・12・日	晴れ	浜松＝伊奈川ダムⓈ～南駒登山口～北沢尾根三角点～南駒ケ岳～越百山
		4:26                  5:48                  8:38                  11:04                  13:54 ～上の水場～越百山登山口～伊奈川ダムⓈ 15:10                  16:31                  17:18
・	・	

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

### 【ダムⓈ～登山口】

ヘッドライトで林道歩きをスタートする。歩き始め、着込めるだけ着込んでもまだ寒くてガタガタだった。釜の沢遡行を切り替えての今山行だったが、正解だったかも…と思った。南駒の登山口は、地形図と微妙に異なるが、林道脇の階段から入って行くので迷うことはない。

### 【登山口～南駒ケ岳】

北沢尾根のルートは、登山地図では破線コースになっているので、どんな感じが心配していたが、笹の刈払いもされていて踏み跡明瞭、指導標も整備されており、なぜ破線ルートなのかと疑問に思った。2591mピーク付近からの南駒方面の展望は素晴しかった。南駒の手前は、花崗岩の大きな岩を登ったり飛び移ったりしながら進む。

### 【南駒ケ岳～越百山】

メインの縦走路に出たので、たくさんの登山者の人とすれ違う。でも空木岳方面に見えたような団体はいなかった。仙漕嶺を巻いて秋色の縦走路を越百山へと歩く。

### 【越百山～ダムⓈ】

時間が押してきたので、日没前には林道に出たいと先を急ぐ。山頂で会った単独の男性は、越百小屋に泊まるつもりで来たら、いっぱいだと断られたため、急遽日帰りになったと言っていた。そのわりにひっそりとした越百小屋の脇を通り、その下でもまだ登ってくるグループとすれ違いながら、明るいうちに駐車場に戻ることができた。

### 【自然保護の視点】

南駒に登る北沢尾根ルートは、山頂で会った人から「破線ルートだけど大丈夫か」と聞かれたが、越百山の登山道と比べると明らかに入山者が少ないことを示すように登山道が荒れていない。それに比べて越百山の登山道は、登山道が広がり、えぐれていて歩きにくかった。破線ルートで示すことが入山者の抑制につながっているのではあるとすれば、このまま守っていくのもいいかもしれないと思った。と同時に、登山者が山に与えるダメージを思い、歩き方も含めたローインパクトな登山を心がけたいと思った。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----